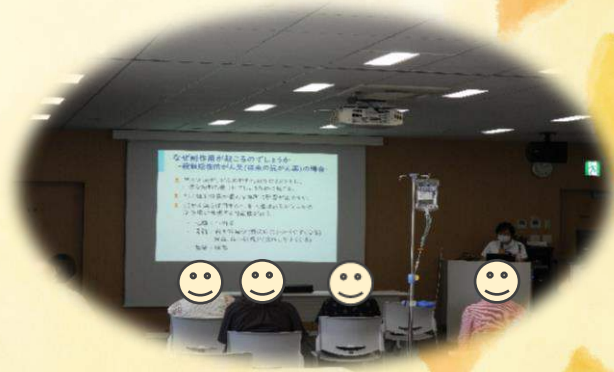


第3回 「がん患者・家族交流会」開催報告

ミニ学習会テーマ：「化学療法の副作用とケア」

講師：がん薬物療法認定薬剤師 渋谷 理恵
がん薬物療法看護認定看護師 妹尾 尚美

9月19日(木)13:30~15:00に第3回がん患者・家族交流会を開催しました。今回は、島根大学病院と浜田医療センター、邑智病院の各会場をオンラインでつなぎました。各会場あわせて21名のがん患者さん、ご家族、がんピア・サポーターに集まっていただき、学習会テーマへの関心の高さが伺えます。



ミニ学習会後の質問タイムには、「手足のしびれが、時間が経っても続いているけれど、対処方法はありますか?」「診察室で医師に伝えてもスルーされた経験があるけど」といった質問もありました。それに対し、「しびれはなかなか取りづらい症状の一つ。症状の訴えに医師だけでなく看護師も対応できるような体制を整えたい。」と、講師からの答えもありました。

交流会は、島根大学病院会場の2グループに加え、オンライン上でも交流しました。グループ毎に話した内容や雰囲気も違いましたが、化学療法の副作用でしびれが治らないことへの心配や、食事のとりづらさなど、1人の患者さんが発言されると「私もそうです。辛いですよね。」「私はこんな副作用が出てしんどかったけど、何とか乗り切ったよ。」という共感の言葉が聞かれました。また、治療を乗り切るためにどんな工夫をしていたのか?の質問に「治療後に好きなものを食べて自分にご褒美をあげていた」「先生に聴きたいことは毎回メモして診察を受けていた。」など、がんピア・サポーターからの経験談も話され、あたたかい雰囲気の中進んでいきました。

皆さんから寄せられた感想には「同じ病気を闘っている人と話せる機会が持てて嬉しかった」「初めて参加しましたがお話が聞けて良かった」と、とても嬉しい言葉がありました。

この会が、参加されたがん患者さん・ご家族と一緒に学びながら、安らぎや治療意欲の向上につながることを願っています。ご参加をお待ちしています。



次回開催：10月31日(木)13:30~15:00「がん治療中の食事」